



すぎなみ

# 教育報

第169号  
平成15年6月30日  
発行 杉並区教育委員会  
杉並区阿佐谷南1-15-1  
☎ 3312-2111 FAX 5307-0692  
区公式ホームページ  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

(仮称)

## 「杉並区子ども読書活動推進計画」を策定しています



読書は、人との出会いに似ています。もし、素晴らしい人と出会うことができ、その素晴らしさに感動すれば、さらに多くの出会いを求めるものです。  
杉並区は、特にこれから成長する0歳から18歳の子どもの世代、青年と呼ばれる世代に読書の素晴らしさを知って欲しいと考え、(仮称)「杉並区子ども読書活動推進計画」を策定することとしました。  
今号では、この計画目標や、杉並区で行われている読書活動を紹介します。



### 計画の目標と具体的な施策

子どもが読書しやすい環境を整備し、読書の機会を増やします。  
読み聞かせ・おはなし会・図書館の開館日の拡大 など  
地域のなかでの読書活動を充実させます。  
NPOやPTAなどによる読書活動の奨励・支援 など  
子どもの読書活動に関わる人たちを育成します。  
「すぎなみコミュニティカレッジ」のボランティア養成講座の開設など  
子どもの読書活動に関わる保護者を支援します。  
講演会の開催・読書活動に関する相談窓口の設置 など

### 計画期間

5年間(平成15年度~19年度)

### ご意見をお寄せください

この計画(素案)の全文については、7月11日から、区政資料室(区役所西棟2階) 区民事務所、区民センター、図書館で閲覧できるほか、区ホームページでもご覧になれます。計画(素案)に対するご意見は、7月11日から7月31日までに、ハガキまたはファックスでお送りいただくか、区ホームページの専用掲示板でお寄せください。  
送付先:教育委員会事務局庶務課(FAX 5307-0692 住所 阿佐谷南1-15-1)  
中央図書館(FAX 3391-7803 住所 荻窪3-40-23)



### データで見る杉並区の読書の現状

#### 読書をしない小中学生の割合

(杉並区の割合は「平成13年度済美教育研究所調査」、全国の割合は「毎日新聞第47回読書調査」より)

小学生	9.2%	(全国 10.5%)
中学生	27.9%	(全国 43.7%)

#### 読書が好きですか? (「平成13年度済美教育研究所調査」より)

小・低学年	好き 62.6%	どちらでもない 30.8%	嫌い 6.6%
小・中学年	好き 59.1%	どちらでもない 39.0%	嫌い 2.0%
小・高学年	好き 53.0%	どちらでもない 43.2%	嫌い 3.8%
中学生	好き 42.6%	どちらでもない 45.2%	嫌い 12.2%

#### 公立小中学校の学校図書室1校あたりの蔵書数(「平成14年度文部科学省調査」より)

小学生	約7,586冊	(全国 約6,683冊)
中学生	約8,144冊	(全国 約8,364冊)



2~3面では、杉並区の読書活動の特集しています。ぜひ、ご覧ください。



#### 馬橋ふれあい図書室の移転について

馬橋小学校で実施していたふれあい図書室は、4月から馬橋児童館の2階に移転しました。開館は、毎週日曜日午後1時~4時で変更ありません。

## 杉並第四小学校 帆足校長による読み聞かせ

杉並第四小学校には、地域の協力によりつくられた郷土学習室があります。囲炉裏や畳が敷かれているこの部屋は、子どもたちに日本の伝統文化を伝えるのにも大変役立っています。



杉四小ではこの部屋を使い、不定期ですが校長が自ら読み聞かせを行っています。

中休みの時間に、1、2年生の子どもたちが畳の上にぞくぞくと集まってきました。「どんなお話、してくれるの？」作務衣姿の校長を子どもたちが取り囲みました。この日は、犬と猫が登場するお話とお母さんを思いやる子どものお話が披露されました。

読み聞かせの内容は、学年によって変化をつけます。高学年には、校長の少年時代の体験をふまえたお話をしたり、低学年には、絵などを生かした目からも興味、関心をひく物語を用意したりしています。また、読み聞かせするお話は校長のオリジナルです。普段、子どもたちとのふれあいの中でヒントを得て、お話を作成しています。

帆足校長は、読み聞かせを行う理由をこう語ります。「読み聞かせは読書のきっかけにもなりますし、子どもたちがゆっくりとイメージを描いて話を聞くいい機会になります。」

子どもたちの反応もとてもよく、校長の読み聞かせは杉四小の特色ある読書活動の一環となっています。

# 家庭・地域・学校での

杉並区では、図書館や学校、地域の方が協力しながらこれらの活動の参加者、利用者の声は(仮称)「子ども

## 絵本とふれあう第一歩「ブックスタート」

杉並区は「ブックスタート」の活動を昨年4月から始めました。「ブックスタート」とは、本を通して赤ちゃんとの楽しいひとときを作る運動です。区内5ヶ所の保健センターで行われる4ヶ月健診の場で、絵本の入ったブックスタートパックを手渡しています。

健診会場では、保護者と4ヶ月児に図書館職員とボランティアが協力して絵本を見せたり、子育てに関するパンフレットの説明をしています。ときには、4ヶ月児の赤ちゃんが絵本に見入ったり、笑ったりします。



抱っこされながら語りかけられることで、赤ちゃんが愛情を感じ、心と言葉が育まれていくことを願った活動、それが「ブックスタート」なのです。

今後、保護者の方が楽しく子育てをするきっかけになればと考えています。

## 来春小・中学校へ入学する 新1年生を対象に 学校希望制度を実施します

魅力ある教育活動の実現と開かれた学校づくりをめざして開始した学校希望制度。保護者の多くの方々から、「この制度ができて良かった」「制度を続けてほしい」等のご意見が寄せられています。今年も9月上旬から希望申請を受け付けます。

希望できる学校の範囲は、住所地の指定校に隣接する学校です。

9月9日(火)に、希望申請書と学校紹介チラシを該当する方のご自宅に郵送します。学校見学<sup>1</sup>や学校情報<sup>2</sup>を参考に、隣接校を希望される場合は申請してください。

希望申請締切は10月6日(月)です。

1学校見学 9月12日(金)から10月3日(金)の間に、学校を見学することができます。見学できる日は学校毎に異なりますので、事前に各学校にお問合せください。また、この他にも学校では、独自の公開行事を行っています。

2学校情報 区公式ホームページの施設案内から、各学校のホームページにつながり、見ることができます。また、7月下旬には区立施設窓口で学校紹介をまとめた閲覧用冊子を備えます。

学校希望制度の詳細は、7月に学校等を通じてお配りする「学校希望制度のご案内」または広報(7/11号)をご覧ください。

## 杉並区は早稲田大学との 協働をすすめます

上井草に早稲田大学ラグビーグラウンドが移転し、それを機に杉並区と早稲田大学のスポーツを中心とした交流が行われ、「杉並区と早稲田大学との協働連携に関する覚書」を締結しました。

中高年を対象としたスポーツ事業(パワーアップ教室)への知識・人材の提供や、学校でのクラブ活動や土曜日学校での子どもたちへのスポーツ指導など、多様な協力を得られることとなります。

また、杉並区で行うスポーツ事業などでは、早稲田大学の調査研究活動等について協力していきます。

杉並区の施設や事業の中で、「杉並・早稲田協働による健康づくりシステム」を創出し、元気な杉並区の実現をめざしていきます。



三谷小学校での土曜日学校の様子  
ラグビーを教わる子どもたち

## 郷土博物館子ども向け企画 「古民家の一泊」で昔の生活を体験



ワラぞうりづくりに熱中する子どもたち

4月26日から27日にかけて、子ども向け企画「古民家の一泊」が郷土博物館で行われました。これは博物館にある古民家に一泊し、昔の生活をいろいろ体験するというものです。参加者は、期待に胸をふくらませて集まった、小学4年から6年までの10人。都会の生活になれた子どもたちにとって、土間がある茅葺きの民家はまさに異空間。100年前にタイムスリップしたような気分で、薪割りやワラぞうりづくりなどにチャレンジしました。学校では習わない「ちょっと昔の暮らし」を体験しながら学ぶことができたようです。

今後郷土博物館では、夏休みに親子向けのイベントの開催など、みなさんが楽しめる企画を実施していく予定です。

# 読書への取り組み

様々な読書に関する活動が行われています。  
読書活動推進計画」の策定にもいかしていきます。

## コミュニティカレッジ 「実践に学ぶ！

### 学校図書室ボランティアのコツ」(全8回)



学校図書室のお手伝いをしたいという人たちが集まったこの講座。第1回目を5月中旬に開催し、「本の探偵」でもおなじみの赤木かん子さんが講師としてお話しされました。

「図書室プロデューサー」として全国各地で活躍中の赤木さ

## 今年も図書館の本を使ってTRY!

### 第4回杉並区「調べる」 学習賞コンクールの作品を募集します

今年で4回目をむかえる「調べる」学習賞コンクール。学校図書室や区の図書館の本を使った調べ学習による作品や研究を募集します。

昨年は、区内小中学生19名の作品がその努力や工夫を評価され、表彰されました。

夏休みなどを利用して、あなたも「調べる」学習に挑戦してみませんか？今年もたくさんの作品、お待ちしております。

### 第4回杉並区「調べる」学習賞コンクール

主催：特定非営利活動法人 図書館の学校

共催：杉並区教育委員会

作品募集期間：9月1日(月)～9月26日(金)

詳しくは7月上旬に区内小・中・高等学校及び図書館に掲示されるポスターをご覧ください。



んは、学校図書室についてこう説明します。「学校の図書室は、まちの雑貨屋さんみたいなもの。品物の種類の多さより、お店のテーマがはっきりした方がよい。」子どもたちにとって身近である学校図書室は、蔵書数の多さよりも本の見やすさやどんな本を置くかが課題になることがわかり、ボランティアとして活動しようとするみなさんにとって有意義な講義となりました。

今後、赤木さんのお話を参考にしながら、区内小中学校の図書室を舞台に、実践も含めた講座を展開していきます。

## 教育委員からの発信



今年度の「教育委員からの発信」では、「学力向上」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

### 表現(プレゼンテーション)力の向上を

教育委員長 丸田 頼一



近來、大学生のみならず新学習指導要領や週五日制の完全実施に伴う、小中学校等児童生徒の学力低下の危惧について、たびたびマスコミ等で報道されている。

従来から、社会的価値観等も影響する、学力の用語を定義することは容易でないと一般的に言われてきたが、知識、技術等の理解の程度を、在籍中のテストや入学試験の点数のみで評価する「学力」の用語は、狭義の限定されたものとして使用すべきであろう。

学力を構成する重要な要素に向学心、知識力、思考力、理解力、表現力などがあり、いずれも欠かせない。

筆者が以前、アメリカに留学した時の経験から、日米を比較し、特にわが国の教育の中で見劣りする要素は表現力と思いつけている。教科や専門等により、その概念も異なるが、小生の専門分野での表現力は、教師や他人に説明する「スピーチ」面と、技術や芸術を図面や模型で示す「作品」面とがある。

アメリカのスピーチ教育は小学校から高校に至るまで、場合によっては大学の有力な教養科目として、実施されている。

それらの学習を通して、声、発言、聞き取り、口述の実際、身体の動き、態度などの基礎から、演説の原則と実際、ディベートの手法などに至るまで、段階的に学び、訓練を積んでいる。

筆者の専門分野の場合、自分の制作した設計作品等を複数の教師と学生達の前で、限られた時間内に説明することが常であるが、明快で説得力があり、質疑応答においては、日本の大学生には信じられない程活発であり、しかも、相手の質問の趣旨を正確に捕え、返答することが出来る。

一方、わが国の大学入試の口述試験に立会って、受験者は一般的に「スピーチ」面に弱い。大

学生の演習や卒業論文の発表、作品説明等の評価も、アメリカの学生に比較して低く、特にその傾向は質疑応答で著しく、沈黙が目立つ。

このような評判は、国際会議での「プレゼンテーション」(スピーチや画像等)に弱い日本人の評価にまで及んでしまっており、わが国の学校教育での改善すべき重要な点と言える。

最近、区内の小中学校を訪れると、総合的な学習の時間等を活用し、教師と児童生徒とのより活発なコミュニケーション、彼らにより主体的な立場からの作品を用いた意見発表等、児童生徒参加型の授業への工夫がみられる。

表現力の向上については、平成10年の小中学校の学習指導要領の改訂でも触れられ、若干の改善はあった。しかし、今回の改訂には、授業時間の大幅な削減はあるものの、この面で大きな意義を感じるものである。

表現力の向上に留意した教育は、向学心、知識力、思考力、理解力などを含め、学力の総合力の向上に寄与する。

したがって、わが国の学校教育、特に義務教育や高校においては、今後とも、急速に進むであろう情報化や国際化社会をもにらみつつ、表現(プレゼンテーション)力の向上を総合的にはかる視点を明確にすると共に、小中高別に目的やコンセプトを樹立させ、しかも小中高の一貫した実施プログラムを作り、実行に移す必要がある。その際、英語の活用も加味させることも不可欠である。

### ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。  
ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて  
ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

# わたしたちの先生自慢

杉並区の学校で活躍する先生を紹介している「わたしたちの先生自慢」。今回は、学校図書室の整備など、保護者と協力しながら子どもたちの読書活動に積極的に関わっている若杉小学校の宮本先生を紹介します。

## 「本に触れたい」と思うきっかけづくり

若杉小では、朝の15分間を活用した読書の時間の設置や、ボランティアの方による読み聞かせなどの読書活動をすすめています。

宮本先生は、子どもたちが本を手にとってみようとするいくつかのきっかけづくりを実行しています。

まずは、学校図書室の整備。保護者の方といっしょに本のラベルを張り替えたり、汚れをふき取ったりしました。図書室に置かれている本はなんと約6,000冊。一つ一つの本を使いやすいものにする作業はとても大変です。「見た目もきれいな本でないと、子どもたちは手に取らないですから...」子どもたちにすてきな本との出会いをさせたい！という熱い思いが、宮本先生を突き動かすのです。

## 読書を通した子どもたちとの交流

自分が読んで「おもしろい」と感じた本は、子どもたちに積極的に紹介している宮本先生。先生が読んでいる本に興味を示した子が、同じ本を読み「先生、とてもおもしろかったよ。」と感想を聞かせてくれました。

## 若杉小学校 宮本 彰 先生

### 子どもたちと本との出会いの場を盛りあげています

また、担任をしている5年生のクラスでは、学校の机の中に1冊本を置こうと呼びかけています。やってみると、空いている時間に本を読む子どもが増えたそうです。

先生のこのような活動が徐々に、子どもたちと本との距離を縮めています。宮本先生は、読書が心を豊かにするという実感を持って、子どもたちの読書活動をサポートし続けています。



子どもたち、保護者の方といっしょに読み聞かせを楽しむ宮本先生(右上)

若杉小学校では、図書室の本の整理、図書室の飾り付け、低学年への読み聞かせなど学校の図書室を手伝ってくださる方を募集しています。詳しくは若杉小学校(3392-6428)へ直接お問い合わせください。

## 歯の大切さについて考えました

### - 健康な歯をいつまでも -

「歯の衛生週間」(6月4日から10日)にちなんで区立小・中学校の児童・生徒から募集した図画・ポスター、作文、標語の入賞者の表彰式が6月21日(土)区立産業商工会館で行なわれました。

入賞者、入選作品の一部をご紹介します。(敬称略)



区長賞  
永福南小学校  
2年1組  
諏訪 絢乃



会長賞  
杉並第一小学校  
5年2組  
吉川 由季子

#### 図画入賞者

永福南小学校	2年1組	諏訪 絢乃(区長賞)
永福南小学校	1年1組	山崎 和希(金賞)
永福南小学校	3年1組	藤田 有里沙(金賞)

#### ポスター入賞者

杉並第一小学校	5年2組	吉川 由季子(会長賞)
杉並第一小学校	5年2組	澤田 尚希(金賞)
荻窪中学校	2年A組	小見山 真理子(金賞)

#### 作文入賞者

「はぶらしの大切さ」	桃井第二小学校 3年1組	宮坂 健吾(金賞)
「むし歯なしのひみつ」	桃井第二小学校 4年2組	橋本 麻里栄(金賞)

#### 標語入賞者及び作品

みがくと きれいだね ぼくのは	浜田山小学校 1年1組	常深 航史(金賞)
みらいの歯 いまのわたしに がかって	杉並第七小学校 4年2組	酒井 海帆(金賞)
ぼくの歯と ぼくの命は つながっている	桃井第二小学校 4年2組	渡邊 卓(金賞)
良い歯 強い歯 きれいな歯 むし歯予防は はみがき	桃井第二小学校 5年2組	高松 優(金賞)
みがこうよ ころろをこめて やさしくね	新泉小学校 5年1組	鍛冶 えり(金賞)
きれいな歯 未来の自分に おくりもの	杉並第七小学校 6年2組	加藤 千尋(金賞)

## 心をつなぐ“家庭学級”

- 学習会や懇談会を開催してみませんか？

“家庭学級”って何？それは、子どもの成長や育つ環境について考える親や地域の大人たちが、毎日の生活や子育ての中から湧き出る素朴な思いを分かち合い、語らうための場です。親も地域の大人もそれぞれみんなたくさんの期待、信念、疑問、不安・・・を持っています。それら一つひとつを身近な人たちと大事に分かち合い、語り合うことで、地域の中で相談したり助け合ったりできる関係をさらにふくらませていきませんか。そうした場合、教育委員会では次のような要件をそなえていれば、様々な支援を行いますのでお気軽にご相談ください。



- \* 子どもの成長や育つ環境に関心をもつグループやサークル等であること
- \* 学習会は、地域に開かれていて家庭あるいは地域の教育力の向上を目的にしていること
- \* 参加者同士の「語らい」を重視した学習会方式であること
- \* 活動の場所・時間帯・経費等、自主的な運営であること
- \* 政治・宗教・営利目的・他の団体勧誘等、会の目的以外には行わないこと

#### 支援内容

- \* 学校や区立施設の会場提供
- \* 広報すぎなみへの掲載
- \* 企画や運営についての相談
- \* 経費の一部支給  
(例) 講師や助言者への謝礼、会場費、印刷費等

#### 【問い合わせ先】 社会教育センター

TEL : 3317 - 6621 / FAX : 3317 - 6620

## 教育委員会の動き

平成15年3月～5月

#### 【教育委員会開催状況】

定例会	6回
臨時会	1回
議案	30件
報告事項	23件

#### 【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 杉並区文化財の指定並びに登録について
- 教育財産の用途廃止について
- 杉並区教育委員会区民等の意見提出手続に関する規則
- 杉並区社会教育委員の委嘱について
- 重症急性呼吸器症候群(SARS)の拡大に対する学校現場の対応について
- 学校希望制度に関する保護者アンケート
- 平成14年度杉並区学校文化栄誉顕彰受賞者について
- 区立学校における新たな結核健康診断について



#### へ知る▶▶▶ 杉並の子どもたちが世界大会に出場

7月4日～6日にイタリアで行われるロボカップ世界大会のジュニア部門に区内小・中学生によるチーム「チームHoriHori」「アンティーク」が参加します。活躍を期待したいと思います。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。